

【運転・定検状況（区分 ）】

平成 18 年 8 月 16 日

7号機タービン建屋内での水漏れについて

東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

運転中の7号機において、昨日午後6時22分頃、タービン建屋地下中2階にある高圧ドレンポンプ\*弁室内のポンプ(A)の弁付近から水が漏れていることをパトロール中の当直員が発見しました。その後、予備機であるポンプ(C)に切り替え、ポンプ(A)を系統から切り離したことから漏えいは停止いたしました。

今後、当該弁の点検・補修を実施いたします。

漏れた水はすべて同室内にとどまっており、漏えい量は約 $2.4\text{m}^3$ 、放射エネルギーは約 $9.7 \times 10^8$ ベクレルで、排水および拭き取りにより処理いたしました。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

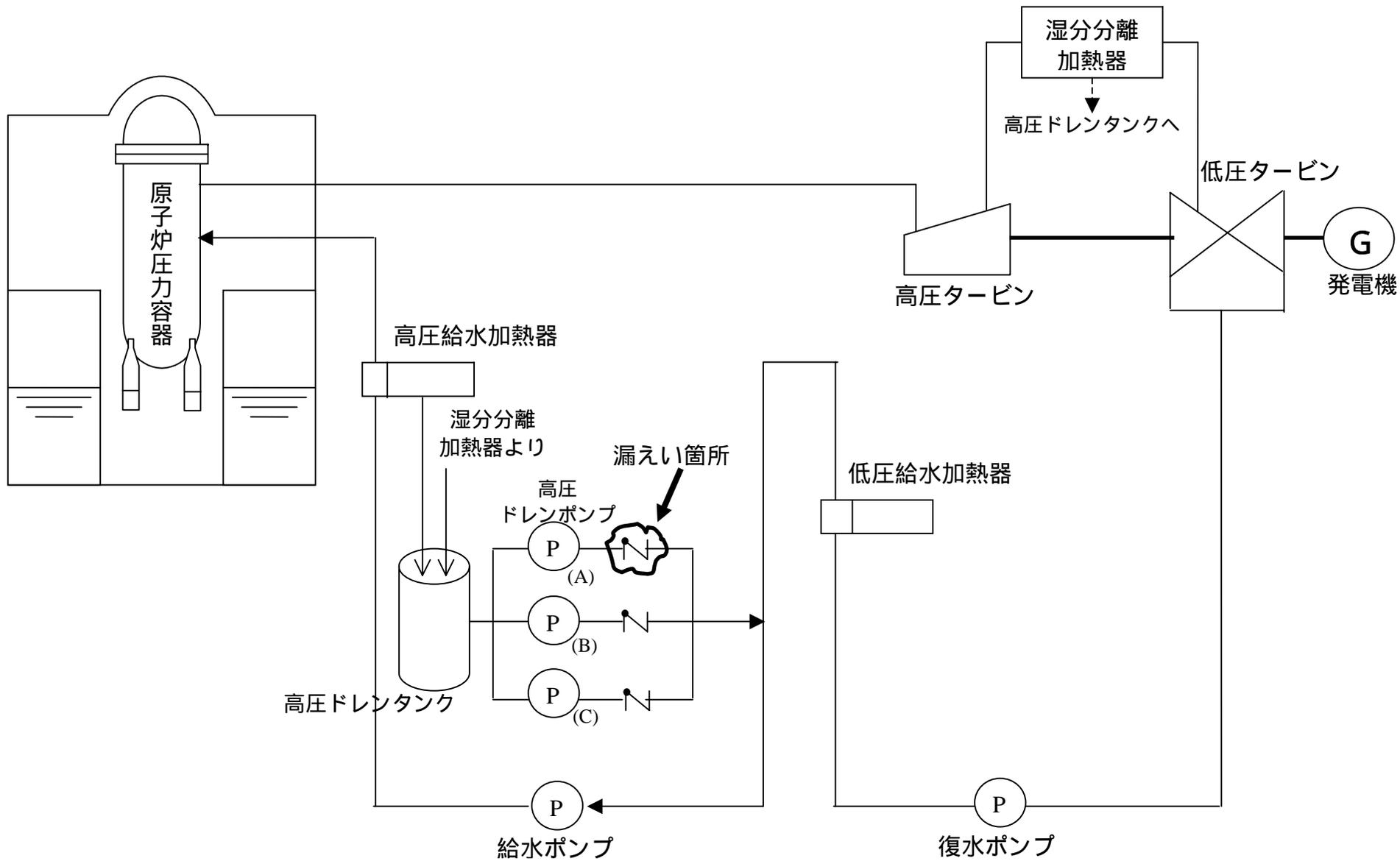
以上

\*：高圧ドレンポンプ

給水加熱器等で発生するドレン（凝縮水）を給水ポンプの入り口に戻すためのポンプ。高圧ドレンポンプは(A)(B)(C)の3台設置されており、通常はこのうちの2台が運転している。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/images/kijun.pdf>）



7号機 系統概略図